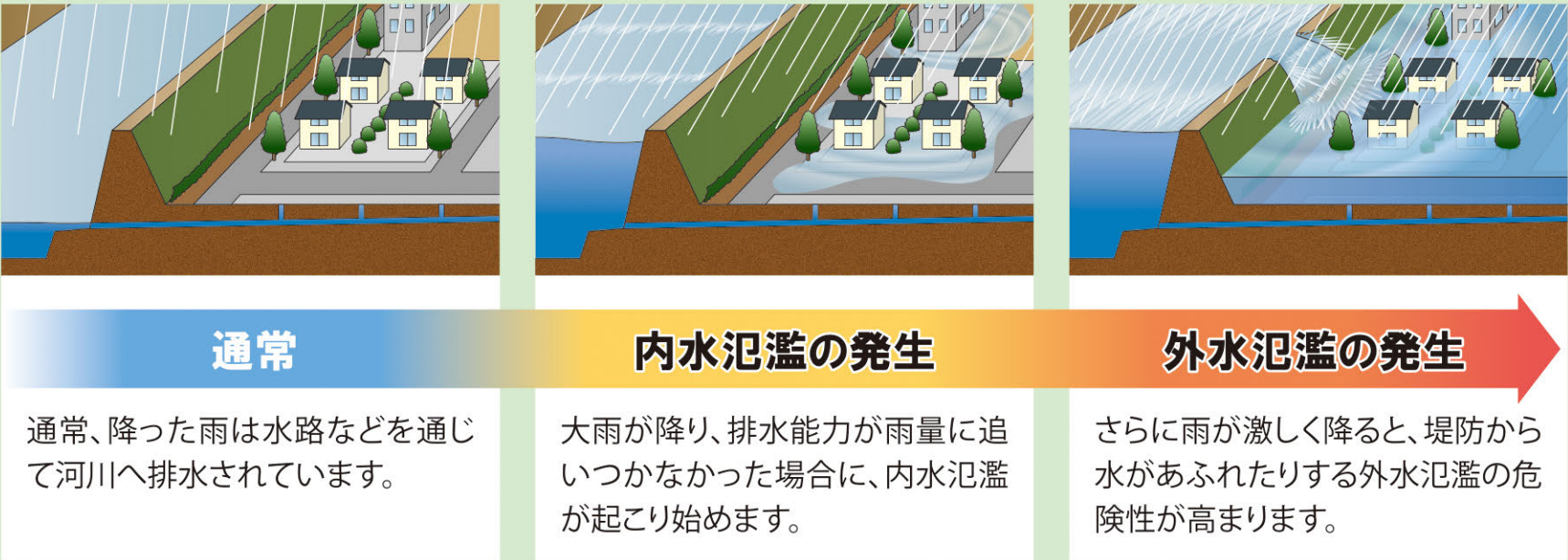


洪水・土砂災害の発生

洪水の発生するしくみ

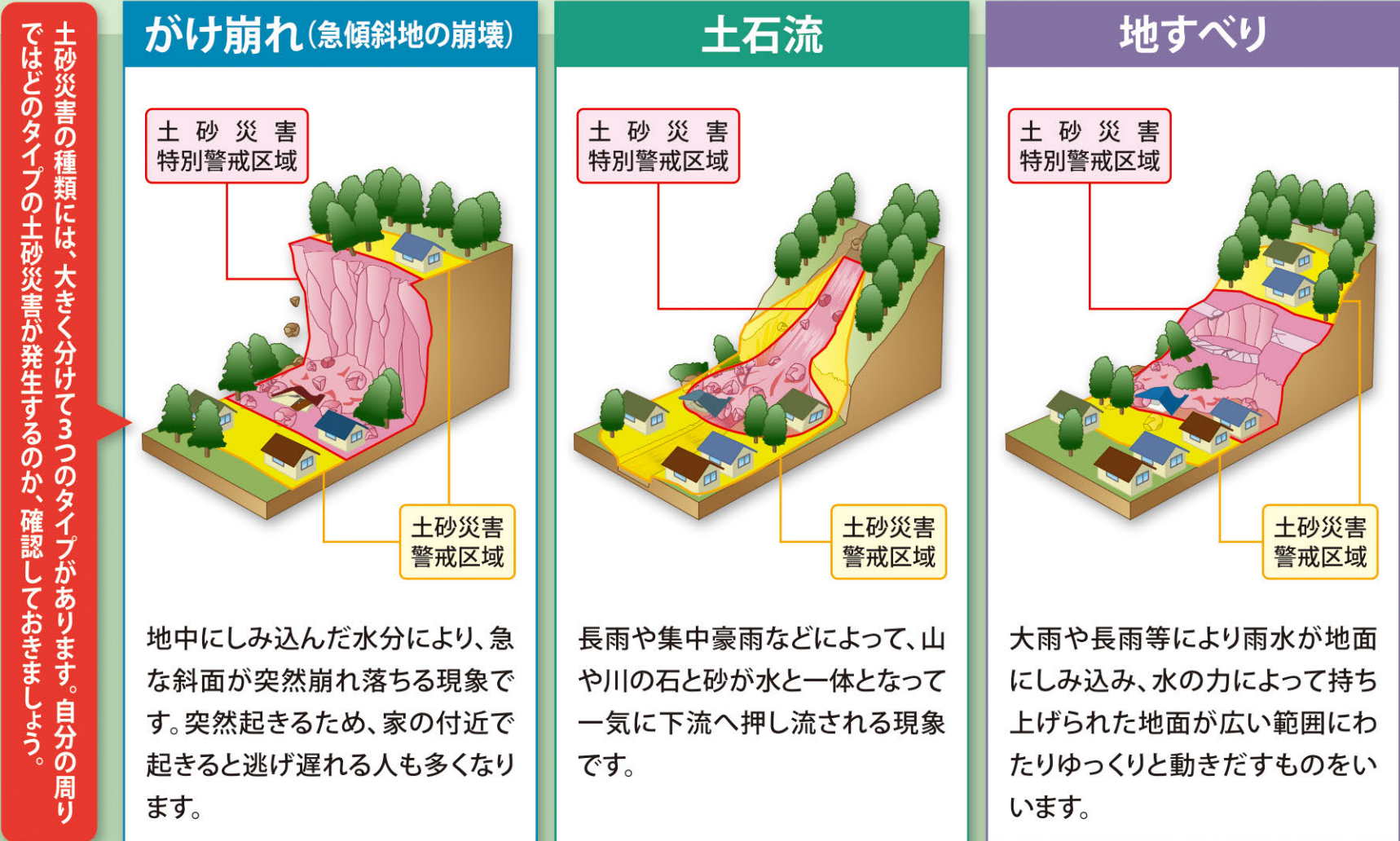
洪水には、降った雨が水路などで排水しきれなくなることにより起こる「内水氾濫」と、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する「外水氾濫」があります。まずは、洪水の発生するしくみを理解して、避難所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



その場で雨が降ってなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。次ページに示したような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、役場へご連絡ください。



土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、確認しておきましょう。

雨の強さと降り方

	やや強い雨 10～20mm未満	強い雨 20～30mm未満	激しい雨 30～50mm未満	非常に激しい雨 50～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。 ●水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●地面一面に水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生する場合もあります。

このような現象が土砂災害の前ぶれです

